

# なぜ、認知症の人は家家に帰りたがるのか 講演会 ～「脳科学」と「人間」が会うことの奇跡～

認知症の人の  
“なぜ”に答え、  
気持ちに  
応える  
研修会

◆ 令和4年12月7日（水）16:00～18:00

※ 当研修会はオンライン（ZOOM）開催です。申込方法は下記をご確認ください

講師：恩蔵 絢子（おんぞう・あやこ）先生

1979年神奈川県生まれ。脳科学者。専門は自意識と感情。

2015年に同居の母親がアルツハイマー型認知症と診断された。

以来、生活の中で表れる認知症の症状を観察、分析。特に「その人らしさ」は認知症によって変わってしまうのかということが母親の人格を一番よく知る娘としては、切実な問題となっていた。1人の娘として毎日戸惑いながら、他方では脳科学者として客観的に分析していくことで、医者／患者、科学者／被験者という立場で診察室や実験室でテストをして認知症を研究するのは違った認知症の理解を持つにいたり、情報を発信している。



※ テキストのご購入は、こちらよりお申込みください。

<https://forms.gle/ggmtzXLMycNsSDT68>



## 脳科学者の視点から解説

### ◆ 研修のお申し込み方法 ◆

スマホで簡単お申込み



QRコードから  
申込フォームに  
簡単アクセス

万一、QRコードが読み取れない場合は、以下のURLをブラウザに入力ください。

<https://questant.jp/q/O5K8DXMN>

申込〆切 11/21日

● 認知症の人が生活する上で直面しがちな34の困り事を事例としてとりあげ、なぜそのような行動をとるのか、家族や介護職はどうかかわれば良いのかを脳の器質の特徴を踏まえて解き明かす。医学モデルでも生活モデルでもない、**脳科学**からのアプローチを示した。

#### <主要目次> ※ 抜粋

- ・なぜ、同じことを何度も聞いてくるのか。
- ・なぜ、受診の話をすると怒り出すのか。
- ・なぜ、同じ物をいくつも買ってしまうのか。
- ・なぜ、季節外れの服装をしたり、着替えをしなくなるのか。
- ・なぜ、大事な物を失くすと、身近な人のせいにしてしまうのか。
- ・なぜ、排泄に失敗したり、汚れた下着を隠そうとするのか。

お問い合わせ先

サービス付き  
高齢者向け住宅

**D-festa 溝の口**

ディーフェスタ

みそのくち

〒213-0034

神奈川県川崎市高津区上作延542-1

TEL 044-870-4181 / fax 044-854-3330

担当者：仁藤（にとう）